

12:20 さて、祭りで礼拝のために上って来た人々の中に、ギリシア人が何人かいた。

12:21 この人たちは、ガリラヤのベツサイダ出身のピリポのところに来て、「お願いします。イエスにお目にかかりたいのです」と頼んだ。

12:22 ピリポは行ってアンデレに話し、アンデレとピリポは行って、イエスに話した。

12:23 すると、イエスは彼らに答えられた。「人の子が栄光を受ける時が来ました。

12:24 まことに、まことに、あなたがたに言います。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。

12:25 自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世で自分のいのちを憎む者は、それを保って永遠のいのちに至ります。

12:26 わたしに仕えるというのなら、その人はわたしについて来なさい。わたしがいるところに、わたしに仕える者もいることになります。わたしに仕えるなら、父はその人を重んじてくださいます。」

12:27 「今わたしの心は騒いでいる。何と言おうか。『父よ、この時からわたしをお救いください』と言おうか。いや、このためにこそ、わたしはこの時に至ったのだ。

12:28 父よ、御名の栄光を現してください。」すると、天から声が聞こえた。「わたしはすでに栄光を現した。わたしは再び栄光を現そう。」

12:29 そばに立っていてそれを聞いた群衆は、「雷が鳴ったのだ」と言った。ほかの人々は、「御使いがあの方に話しかけたのだ」と言っ

た。

12:30 イエスは答えられた。「この声が聞こえたのは、わたしのためではなく、あなたがたのためです。

12:31 今、この世に対するさばきが行われ、今、この世を支配する者が追い出されます。

12:32 わたしが地上から上げられるとき、わたしはすべての人を自分のもとに引き寄せます。」

12:33 これは、ご自分がどのような死に方で死ぬことになるかを示して、言われたのである。

12:34 そこで、群衆はイエスに答えた。「私たちは律法によって、キリストはいつまでも生きると聞きましたが、あなたはどのように、人の子は上げられなければならないと言われるのですか。その人の子とはだれですか。」

12:35 そこで、イエスは彼らに言われた。

「もうしばらく、光はあなたがたの間にあります。闇があなたがたを襲うことがないように、あなたがたは光があるうちに歩きなさい。闇の中を歩く者は、自分がどこに行くのか分かりません。

12:36 自分に光があるうちに、光の子どもになれるように、光を信じなさい。」イエスは、これらのことを話すと、立ち去って彼らから身を隠された。

ギリシャ人でさえイエス様を受け入れようとしていました。そして、それは成功への誘惑にもなることでした。このまま彼らの先生として活動すれば、楽に教えを広められるでしょう。そのようなときにイエス様は苦難の道を歩むべく、決心を新たにします。

そしてご自身が死ぬことと、ご自身の弟子となるべきことを表されてののです。弟子たちの将来を思ったことでした。そして天の父はイエス様を励ますべく、御声を表されたのです。

主のために、その使命を果たすように決心した者を、主は励まし栄光を表してくださいませ。主の栄光を表すための決心をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

